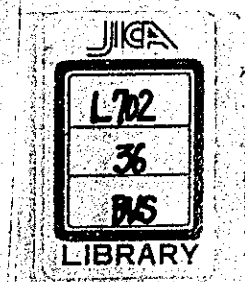


管内概況

1976年7月

国際協力事業団サンタクルス支部

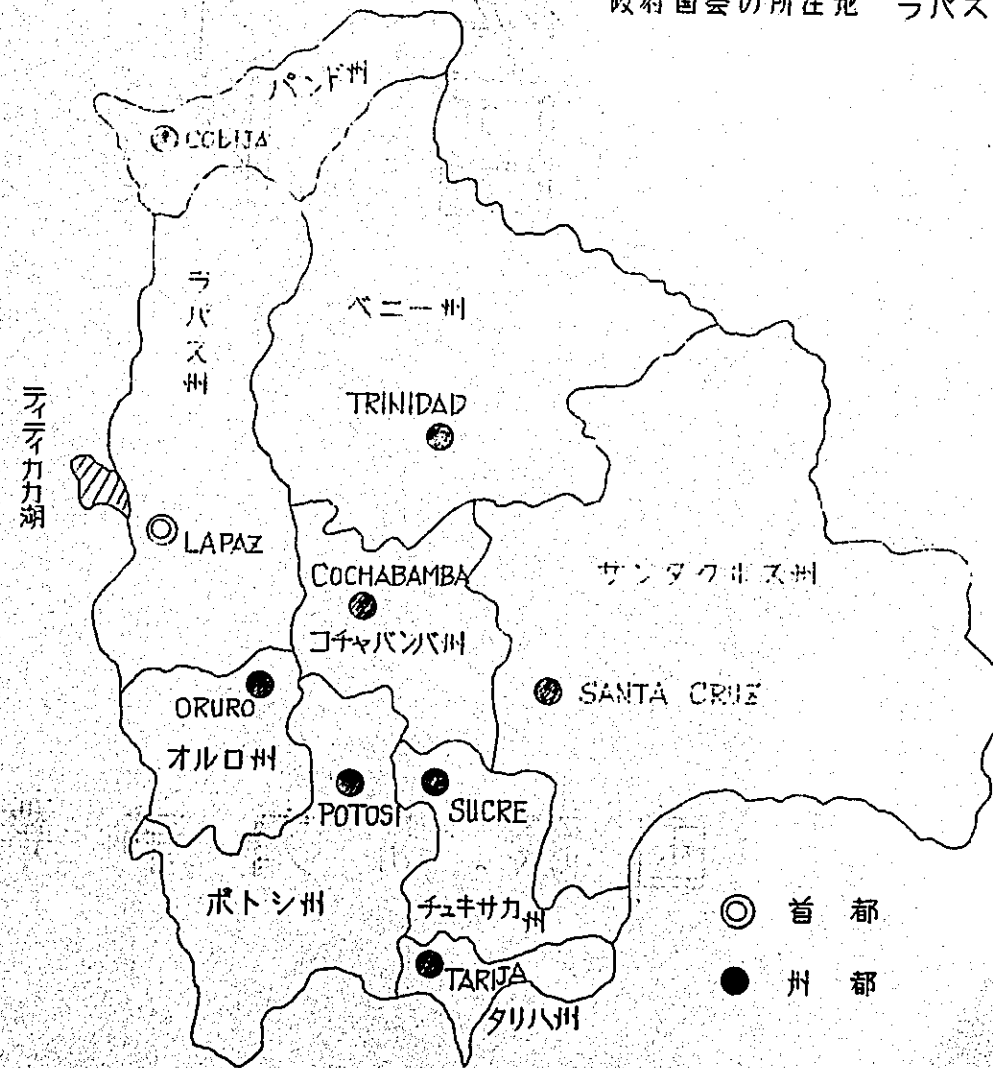


目次

一般事情	1
自然と住民	
社会と文化	
日本との関係	
サンファン・オキナワ移住地周辺概略図	3
移住地創設の経緯及び沿革	4
サンファン移住地	
サンファン移住地概略図	
オキナワ移住地	
オキナワ移住地概略図	
移住地の環境	5
立地条件	
社会環境	
移住地の管農状態	8
サンファン移住地	
オキナワ移住地	
附	
国際協力事業団サンタクルス支部概要	10
組織	
業務内容	
主な業務の実績	
移住と国際協力	

ボリビア国行政区分図

国土面積 1,098,581平方キロ
 人口 5,634,000人
 首都 憲法上の首都 スークレ市
 政府国会の所在地 ラパス市



国際協力事業団	
受入 月日 84.9.13	L702
登録No. 14945	36
	BVS

一 般 事 柄

JICA LIBRARY



1054171[2]

ボリヴィアの自然と住民

面積 総面積 1,098,581 平方キロの面積を有し、南米大陸では才五位を占める大きさで、日本の約3倍に相当する。

地勢 3,000メートル以上のアンデス高原地帯と、それ以下の溪谷地帯および平原地帯の三つに大別され、東部平原地帯は河川に恵まれ、水運に便利で、農業その他資源(石油、ガス)が豊富である。高原地帯には、地下資源があり、また水面の高さ3,800メートルのティティカカ湖は、輸送路、農業用水として利用され、蛋白資源の供給源ともなっている。

代表的な山 ラパス州 イリマニ山(6,882メートル)、イリヤンプ山(6,550メートル)、アンコウマ山(6,380メートル)
オルロ州 サマハ山(6,542メートル)

気候 4月から11月までは乾期、12月から3月までは雨期である。但し、平原地帯は高地ほどこの現象は明瞭でない。平原地帯の北部アマゾン支流地方は、年間を通じて暑さは相当厳しいが、南部地方は可成り緩和される。高原地帯、特に山岳地帯は一年中冬の気候で、陽が昇っている間だけ春の暖さとなる位である。

人口・人種 1976年2月現在の総人口は、5,634,000人で、年平均増加率は、2.6%である。総人口の8割が高原・溪谷地帯に、残り2割が広大な平原地帯に居住している。人種構成は、原住インディオが55%、混血者2%、白人13%である。ラパス周辺には、主としてアイマラ族、コチャバンバ付近にはケチュア族が住んでおり、これら種族はそれぞれ独自の言語をもっている。

主な州別人口分布等	首 都 名	都 市 部 人 口	首 都 標 高
サンタクルス州 492,000人	サンタクルス市	260,000人	4,166米
コチャバンバ州 844,000人	コチャバンバ市	302,000人	2,558米
ラパス州 1,631,900人	ラパス市	321,000人	3,577米

政治 立憲共和制であり、現行憲法は1967年(昭和42年)2月3日に改正されたものである。現ハインセル政権は、政治的には反共を基盤とするナショナリズムを標榜し、外交的には親米、親自由主義諸国を基本路線としている。

ボリヴィアの社会と文化

教育 初等教育前期(幼稚園)は、4才から6才までの者を対象とした2学年制があり、義務的でない。初等教育後期(小中学校)は、6才以上の者が入学し、就学8年制の水準で義務教育である。中等教育(高校等)は、15才乃至18才の少年に対して、中級の職業形成と進学とが区分され(選択を伴う)、4学年の水準をもつ、非強制な教育制度である。

上級教育（大学等）は、職業家形成の水準であり、中等教育終了者に授けられる。

学科により修業年限は異なるが、法科、経済科等は大体5年で、医科、工科等は7年である。

その他 成人教育があり、これには卒業はない。

風俗・習慣 服装 アイマラ族やケチュア族の女性は、ひだの大きなボジェラと呼ぶスカートを着用している。
帽子 アイマラ族の女性は山高帽、ケチュア族の女性は白色のシルクハット型の帽子をかぶっている。

日本との関係

外交関係 明治40年（1907年）に外交関係が開かれ、1914年4月13日、通商航海条約が締結される。

昭和17年（1942年）1月28日、国交断絶、1943年12月4日、開戦。

昭和27年（1952年）12月20日、公文交換により外交関係再開。

昭和28年（1953年）7月25日、日本国公使館ラパスに開設、1961年10月1日、大使館に昇格。

移住関係 明治33年（1900年）ペルーに移住した人達が、ラパス州ソラタ地区に再移住したことに始まる。

わが国から直接ポリヴィア国への移住は、昭和29年（1954年）8月、当時の琉球政府計画による、オキナワ移住。

昭和30年（1955年）7月、日本政府計画による全都道府県公募移住が嚆矢である。

昭和31年（1956年）8月2日、わが国とポリヴィア国との間で、移住協定が締結される。

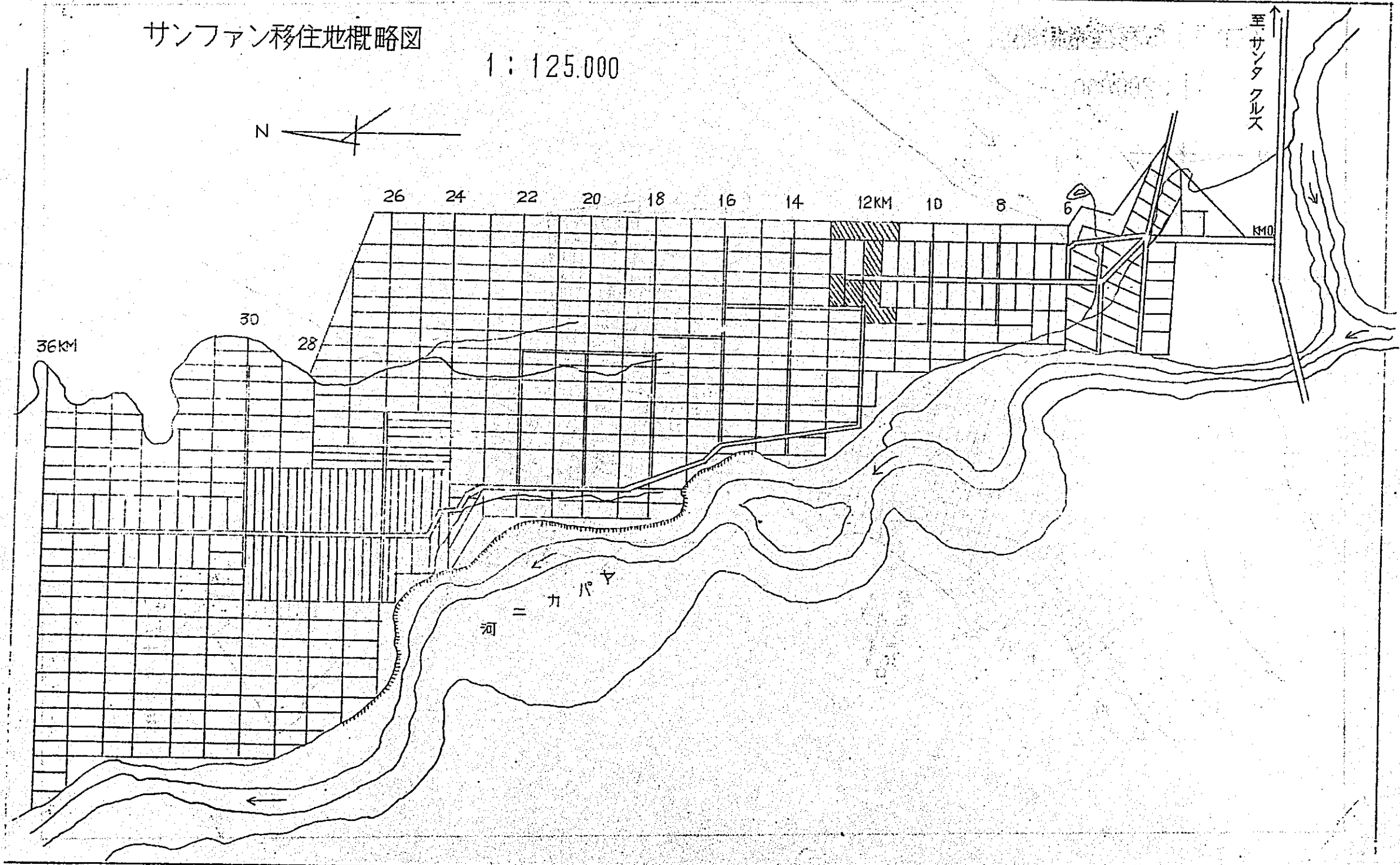
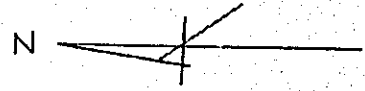
在留邦人 現在、約5,200名の日系人が居住している。

地域	永住	長期滞在	計
ラパス	189	47	236
サンタクルス	324	29	353
サンファン移住地	1,261	7	1,268
オキナワ移住地	1,561	23	1,584
上記以外の諸州	81	0	81
計	3,416	106	3,522

日系人推定 1,620

サンファン移住地概略図

1 : 125,000



至サンタクルス

カパヤ河

36KM

30

28

26

24

22

20

18

16

14

12KM

10

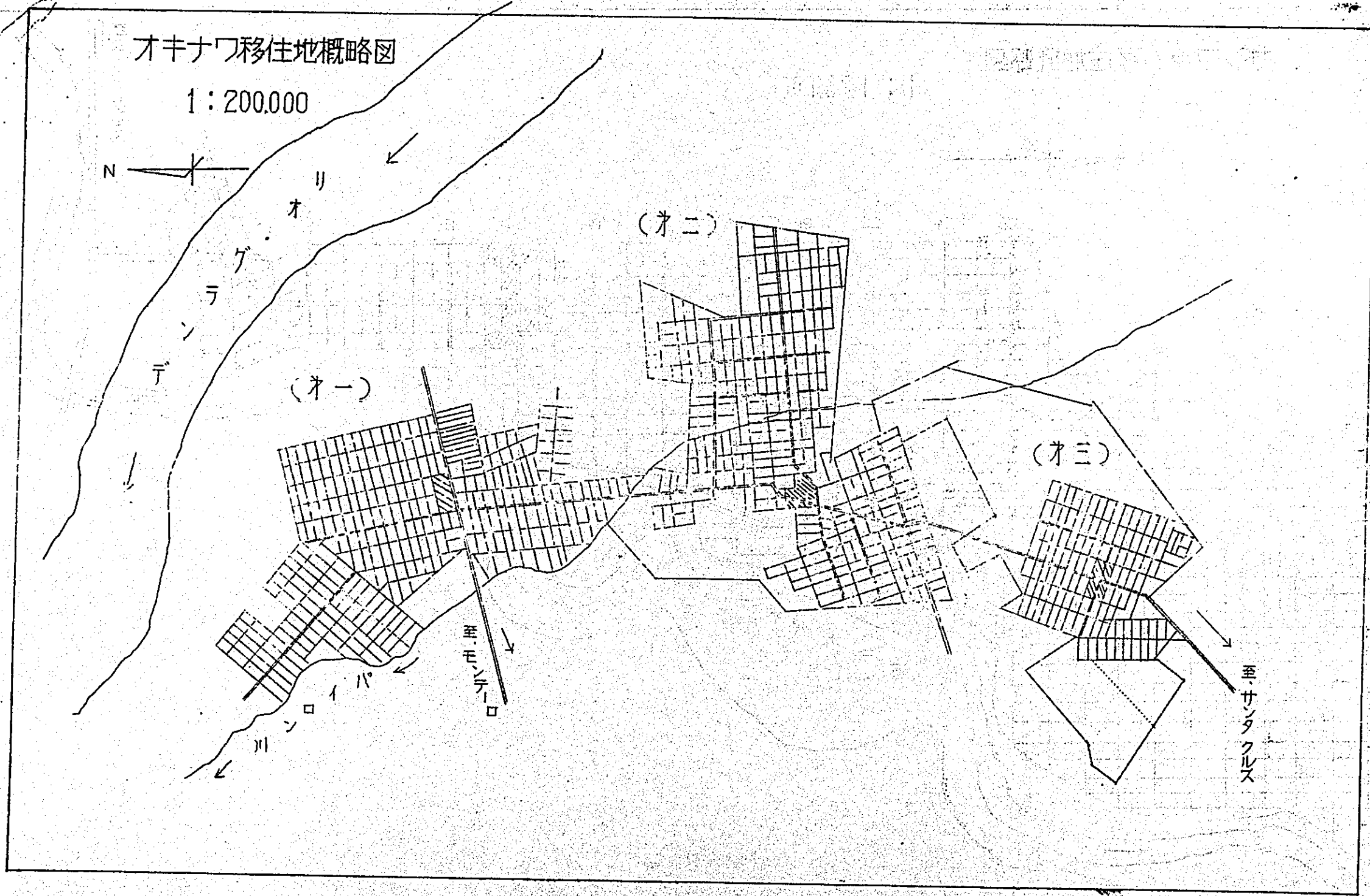
8

6

KM0

オキナワ移住地概略図

1:200,000



N

オ
リ

テ
ン
グ

(オ一)

(オ二)

(オ三)

至
サン
フラン
シスコ

至
サン
フラン
シスコ

川
イ
ン

移住地創設の経緯及び沿革

サンファン移住地

- 昭和29年8月、製糖事業の経験を有する西川利道氏（神奈川県出身）が、外務省の指導を受け、現地を視察し、製糖事業を企画、サンタクルス市に、サンタクルス農業開発協同組合を設立するとともに、事業地としてサンファンを選定、ポリヴィア政府に対し、土地の私下げ申請（500HaS）を行う。
- 昭和30年7月、最初の日本人移住者14家族（85名）及び単身（3名）、計88名がサンファン移住地へ入植する。通称「西川移民」又は、その後の計画移住に対し、「オロ次移民」といっている。
- 昭和31年12月、サンタクルス農業開発協同組合が解散し、新たにポリヴィア移住促進組合が創設され、移住者受入業務を実施するため、（財）日本海外協会連合会（東京）職員が派遣され、その業務を遂行する。
- 昭和32年6月21日、日本の各都道府県海外協会を通じて全国公募した計画移住者、オ1次25家族、159名がサンファン移住地へ入植する。
- 以後、昭和51年6月末現在、297家族（1,621名）及び単身（33名）計1,654名が入植する。
- 昭和32年8月20日、日本人農業移住者で、ヤバカニ希望農業協同組合を結成、その後変遷を経て法人格を有する「サンファン農牧総合協同組合」を設立する。
- 昭和32年12月1日、ポリヴィア国から15,288HaS、次いで昭和35年12月1日、20,000HaSの臨時占有権（通称仮地権）がCOLONIA JAPONESA "SAN JUAN" に与えられる。昭和43年12月18日、ポリヴィア国から事業団に対し、12軒地域（市街地）の地権が交付される。
- 昭和40年1月1日、日本人移住者で組織する任意団体サンファン自治体（サンファン村）は、サンファン村基本条例を制定する。
- 昭和50年9月末現在、日本（系）人約1,300名、ポリヴィア人約1,500名、計2,800名が居住している。

オキナワ移住地

- 昭和25年4月、ポリビア在住沖縄県出身者により、「移住組合」が結成され、ニューフロテチャベス郡サトルニノ、サウセド地域に「うるま移住地」を設けする。
- 昭和28年4月、うるま移住地開拓植民計画が承認され、ポリヴィア政府に対し、土地の私下げ申請（10,000HaS）を行う。
- 昭和28年12月、琉球政府から調査団が派遣される。
- 昭和29年3月、琉球政府計画オ1次60家族230名、及び単身48名、計278名がうるま移住地へ入植する。
- 昭和30年3月、うるま移住地入植者は、イチロ郡パロメテリア地区に移動する。
- 昭和31年10月、パロメテリア地区よりワルネス郡ロスチャコス地区（現オキナワオ一移住地）の私下げ申請（20,000HaS）を行い、移動する。後続移住者が入植する。
- 昭和32年9月、オキナワオ一移住地の南側に接する土地（現オキナワオニ移住地）の私下げ申請（16,741HaS）を行う。
- 昭和34年4月、琉球政府計画オ6次移住者より、オキナワオニ移住地へ入植する。
- 昭和36年9月、オキナワオニ移住地の南側に接する土地（現オキナワオ三移住地）の私下げ申請（18,321HaS）を行う。
- 昭和37年4月、琉球政府計画オ14次移住者より、オキナワオ三移住地へ入植する。
- 昭和42年10月、オキナワ移住地の管理が日本側に移る。但し、過去の権利義務は継承せず。なお、それまでは、米・ポ間の交渉にもごづき移住が取扱われ、資金援助もAID（アメリカ国際開発局）が行っていた。また、ポリヴィアにおける移住の実施機関として、琉球政府農林局ポリヴィア移住地駐在所と、琉球海外移住公社の駐在員事務所が設置されており、両機関が具体的に全面管理を行っていた。

昭和50年9月末現在、日本(茶)人、約1,600名、ポリウィア人約600名、計2,200名が居住している。

昭和30年9月 日本人移住者で、任意団体「オキナワコロニアオ一農業協同組合」、昭和35年4月「オキナワコロニアオ二農業協同組合」、昭和37年8月「オキナワコロニアオ三農業協同組合」を設立する。これら農協は、地域住民の行政事務も取扱うこととしている。

昭和40年2月 コロニア沖縄農牧総合組合(略称CAICO)を設立する。

移住地の環境

立地条件

事項	移住地名	サンファン移住地	オニ	オニ	オニ
行政区画上の位置		サンタクルス州イチロ郡サンカルロス村サンファン デ ヤバカニ	サンタクルス州ワルネス郡ロスチコロス村	サンタクルス州ワルネス郡ヌエバエスペランサ村	サンタクルス州ワルネス郡モンテクリスト村
移住地の面積		27.132Has	21.800Has	16.744Has	8.555Has
地権取得済		18.550Has 371 ^{ポツ}	15.300Has 306 ^{ポツ}	9.750Has 195 ^{ポツ}	6.138Has 81 ^{ポツ}
申請中		1.950 " 39 "	—	4.750 " 95 "	—
未申請		3.700 " 74 "	—	—	2.208 " 44 "
占有者のないところ		2.932 " 43 "	6,500Has	2,244Has	209 "
中心地の緯度及び経線上の位置		市街地 12軒地点	市街地	集落	集落
面 経		63° 50'	62° 55'	62° 55'	62° 50'
南 緯		17° 20'	17° 10'	17° 20'	17° 30'
標 高		350 ~ 400メートル	307 ~ 319メートル	319 ~ 348メートル	332 ~ 384メートル
平均勾配		1/1000	1/1000	1/1000	1/1000
気 象 (1975年)					
年平均気温		24.9°C		23.8°C	
絶対最高気温		33.8°C		34.9°C	
絶対最低気温		12.9°C		11.9°C	
年間平均降雨量		1716 mm		1,307 mm	
雨天日数		113日		80日	
四 季		概ね4月~10月、乾燥期、11月~3月、雨期	左に同じ	左に同じ	左に同じ
最寄の都市		135 KM	96 KM	62 KM	44 KM
サンタクルス市迄の距離					
所要時間		2時間30分	1時間40分	1時間30分	1時間

山云塚現寺

事項	サンファン移住地	オキナワ移住地								
		オ		ニ		三				
市街地(集落)の状況 (公共的な建物、その他の 主な施設)	自治体事務所(役場) 農校事務所 学校(幼稚園、小、中学校) 病院、体育館、教会 治安事務所(警官駐在所) 事業団サンファン事業所、 各種施設、 サンファン試験農場 農校飼料工場	農校事務所 学校(小、中学校) 診療所 治安事務所(警官駐在所)	農校事務所 学校(小中学校) 病院 治安事務所(警官駐在所) 事業団オキナワ事業所 各種施設、 又エバエスペランサ畜産 試験農場、 CAICO練綿工場	農校事務所 診療所分院 治安事務所(警官駐在所)	(住民数)	(農家数)	(住民数)	(農家数)	(住民数)	(農家数)
住民数	221戸 1,261名	175戸 1,048名	128戸 739名	120戸 693名	90戸 545名	33戸 515名	56戸 277名	48戸 244名		
日本人	≒ 250戸 1,500名	-	≒ 95戸 570名	-	3戸 13名	-	-	-	-	
ポリガイア人	≒ 471戸 2,761名	-	≒ 223戸 1,309名	-	93戸 558名	-	-	-	-	
計										
組織										
自治体 主な事業	サンファン自治体(任意団体) 道路の維持管理、小中学校運営 住民の戸籍等、行政事務	コロニア沖縄農牧総合合同組合(CAICO)内の行政部門外、住民サービス(行政事務)を行っており、移住地毎の農校がCAICOの支所的性格をもち、行政事務を担当している。								
加入数	333戸 1,261名 村長 宮原 定	120戸 693名 会長	83戸 515名 宮城 徳昌	48戸 244名						
組合 主な事業	サンファン農牧総合合同組合 養鶏飼料の製造販売 大豆の販売、倉庫 農業資材のあせん等	コロニア沖縄オキナワ農業合同組合 コロニア沖縄農牧総合合同組合 農業資材のあせん等 病院・診療所の運営	コロニア沖縄オニ農業合同組合 85戸	コロニア沖縄オニ農業合同組合 55戸						
組合員	162戸 組合長 前田 弘	133戸 会長 宮城 徳昌								

事項	移住地名	サンファン移住地				オキナワ移住地			
		サンファン		計	オキナワ		計	オキナワ	
教育		(前期) サンファン幼稚園			コロニア沖繩オキナワ中學校			ヌエバエスベラン中學校	
初等教育		(後期) フェイアレブリア小中學校			学校運営委員会			左に同じ	
		日語学校運営委員会			P. T. A.				
		P. T. A.			メトジスト教会				
生徒数		日系人	ボリヴァリア人	計	日系人	ボリヴァリア人	計	日系人	ボリヴァリア人
小学生		171	184	355名			155名		
中学生		72	43	115			95		
高校一年生		12	4	16					
計		255	231	486			250		
教師数		日語	西語	計	日語	西語	計	日語	西語
		9名	22名	31名	11名	15名	26名	5名	17名
日語生徒数				255名			189名		
スクールバス		2台			1台			2台	
医療		歯科 DR. BONIFACIO PERDRIEL			コロニア沖繩オキナワ診療所			歯科 DR. HERNÁN ROSSEL	
病院・診療所		サンファン診療所(事業田直営)			DR. ARMANDO MIRANDA			コロニア沖繩中央病院	
医師		明瀬 英樹						(CAICO 運営)	
看護師		4名			←			6名 →	
業務員		2名			←			4名 →	
救急車		1台			1台			1台	
治安		12料及び26料地点		2ヶ所	1ヶ所			1ヶ所	
治安事務所		4名			3名			2名	
警官数		2台			1台			2台	
パトロール用オートバイ								1台	

移住地の営農状態

事項	移住地名	サンファン移住地	オキナワ移住地																																																																																																																																			
農法		焼畑農法から漸次機械化農法へと転換を示してきており、現在、 機械耕作可能農地 6,000HAs が造成されている。	左に同じ 現在、機械耕作可能農地 17,800HAs が造成されている。																																																																																																																																			
営農形態		米、大豆、とうもろこし、西瓜、蔬菜等の短期作物、バナナ、 パナ等果樹、牛、鶏等畜産を組合せた混合営農形態である。 最近「マカタミアナツ研究会」が結成され、新しい畜産物の 開発、研究されつつある。	米行錯誤の状態であったが、大豆、サトウキビ、とうもろこし、 米に加えて、棉花等の短期作物、牛、鶏等の畜産を組合せた混 合営農が固まりつつある。 棉花については、製綿工場が建設され、1972年から採集 を開始し、国際商売として海外へ輸出されている。																																																																																																																																			
経営形態による 1. 経営者の生産状況		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>米</th> <th>大豆</th> <th>西瓜</th> <th>バナナ</th> <th>牛</th> <th>豚</th> <th>鶏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>2,266</td> <td>371</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>165</td> <td>100,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>2,250</td> <td>770</td> <td>470</td> <td>30</td> <td>140</td> <td>650</td> <td>141,000</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>1,372</td> <td>431</td> <td>709</td> <td>40</td> <td>140</td> <td>664</td> <td>109,800</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>642</td> <td>1,800</td> <td>160</td> <td>150</td> <td>1,500</td> <td>60</td> <td>130,000</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>550</td> <td>1,500</td> <td>220</td> <td>200</td> <td>2,050</td> <td>205</td> <td>213,700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	米	大豆	西瓜	バナナ	牛	豚	鶏	45	2,266	371	50	150	165	100,000		46	2,250	770	470	30	140	650	141,000	47	1,372	431	709	40	140	664	109,800	48	642	1,800	160	150	1,500	60	130,000	49	550	1,500	220	200	2,050	205	213,700	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>米</th> <th>大豆</th> <th>西瓜</th> <th>バナナ</th> <th>牛</th> <th>豚</th> <th>鶏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>1,515</td> <td>3,450</td> <td>366</td> <td>93</td> <td>3,334</td> <td>1,146</td> <td>53,990</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>241</td> <td>1,480</td> <td>864</td> <td>194</td> <td>260</td> <td>4,315</td> <td>4,664</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>2,597</td> <td>1,321</td> <td>178</td> <td>172</td> <td>63</td> <td>6,950</td> <td>5,357</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>3,898</td> <td>741</td> <td>555</td> <td>96</td> <td>165</td> <td>7,595</td> <td>4,530</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>4,414</td> <td>1,605</td> <td>126</td> <td>-</td> <td>367</td> <td>9,593</td> <td>2,394</td> </tr> </tbody> </table>	年度	米	大豆	西瓜	バナナ	牛	豚	鶏	45	1,515	3,450	366	93	3,334	1,146	53,990	46	241	1,480	864	194	260	4,315	4,664	47	2,597	1,321	178	172	63	6,950	5,357	48	3,898	741	555	96	165	7,595	4,530	49	4,414	1,605	126	-	367	9,593	2,394																																			
年度	米	大豆	西瓜	バナナ	牛	豚	鶏																																																																																																																															
45	2,266	371	50	150	165	100,000																																																																																																																																
46	2,250	770	470	30	140	650	141,000																																																																																																																															
47	1,372	431	709	40	140	664	109,800																																																																																																																															
48	642	1,800	160	150	1,500	60	130,000																																																																																																																															
49	550	1,500	220	200	2,050	205	213,700																																																																																																																															
年度	米	大豆	西瓜	バナナ	牛	豚	鶏																																																																																																																															
45	1,515	3,450	366	93	3,334	1,146	53,990																																																																																																																															
46	241	1,480	864	194	260	4,315	4,664																																																																																																																															
47	2,597	1,321	178	172	63	6,950	5,357																																																																																																																															
48	3,898	741	555	96	165	7,595	4,530																																																																																																																															
49	4,414	1,605	126	-	367	9,593	2,394																																																																																																																															
2. 一戸平均の土地利用 担 移		(単位: Ha)																																																																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="7">開 墾 地</th> <th rowspan="2">未開墾地</th> <th rowspan="2">所有地計</th> </tr> <tr> <th>機械畑</th> <th>焼畑</th> <th>樹園</th> <th>牧草</th> <th>宅地</th> <th>再生林</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>5.6</td> <td>9.3</td> <td>0.8</td> <td>4.3</td> <td>0.8</td> <td>37.5</td> <td>58.8</td> <td>29.3</td> <td>88.1</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>9.7</td> <td>9.6</td> <td>1.3</td> <td>5.9</td> <td>0.9</td> <td>31.7</td> <td>59.1</td> <td>32.5</td> <td>91.6</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>11.2</td> <td>7.4</td> <td>1.7</td> <td>8.7</td> <td>0.8</td> <td>38.2</td> <td>68</td> <td>28</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>15.1</td> <td>9.9</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>0.9</td> <td>36.5</td> <td>67</td> <td>44.3</td> <td>111.3</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>17.8</td> <td>9.0</td> <td>1.7</td> <td>14</td> <td>1.0</td> <td>40.4</td> <td>83.9</td> <td>29.9</td> <td>113.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開 墾 地							未開墾地	所有地計	機械畑	焼畑	樹園	牧草	宅地	再生林	小計	45	5.6	9.3	0.8	4.3	0.8	37.5	58.8	29.3	88.1	46	9.7	9.6	1.3	5.9	0.9	31.7	59.1	32.5	91.6	47	11.2	7.4	1.7	8.7	0.8	38.2	68	28	96	48	15.1	9.9	2.3	2.3	0.9	36.5	67	44.3	111.3	49	17.8	9.0	1.7	14	1.0	40.4	83.9	29.9	113.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="7">開 墾 地</th> <th rowspan="2">未開墾地</th> <th rowspan="2">所有地計</th> </tr> <tr> <th>機械畑</th> <th>焼畑</th> <th>樹園</th> <th>牧草</th> <th>宅地</th> <th>再生林</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>17.0</td> <td>0.6</td> <td>0.04</td> <td>25.3</td> <td>0.9</td> <td>19.2</td> <td>62.5</td> <td>37.2</td> <td>99.7</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>15.7</td> <td>-</td> <td>46.1</td> <td>0.9</td> <td>-</td> <td>62.7</td> <td>37.0</td> <td>99.7</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>13.1</td> <td>-</td> <td>31.4</td> <td>0.9</td> <td>22.2</td> <td>67.6</td> <td>37.5</td> <td>105.1</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>23.3</td> <td>-</td> <td>34.5</td> <td>1.0</td> <td>20.4</td> <td>79.2</td> <td>45.5</td> <td>124.7</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>29.3</td> <td>5.5</td> <td>-</td> <td>50.5</td> <td>0.8</td> <td>17.7</td> <td>103.8</td> <td>55.7</td> <td>159.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開 墾 地							未開墾地	所有地計	機械畑	焼畑	樹園	牧草	宅地	再生林	小計	45	17.0	0.6	0.04	25.3	0.9	19.2	62.5	37.2	99.7	46	15.7	-	46.1	0.9	-	62.7	37.0	99.7	47	13.1	-	31.4	0.9	22.2	67.6	37.5	105.1	48	23.3	-	34.5	1.0	20.4	79.2	45.5	124.7	49	29.3	5.5	-	50.5	0.8	17.7	103.8	55.7	159.5
年度	開 墾 地							未開墾地	所有地計																																																																																																																													
	機械畑	焼畑	樹園	牧草	宅地	再生林	小計																																																																																																																															
45	5.6	9.3	0.8	4.3	0.8	37.5	58.8	29.3	88.1																																																																																																																													
46	9.7	9.6	1.3	5.9	0.9	31.7	59.1	32.5	91.6																																																																																																																													
47	11.2	7.4	1.7	8.7	0.8	38.2	68	28	96																																																																																																																													
48	15.1	9.9	2.3	2.3	0.9	36.5	67	44.3	111.3																																																																																																																													
49	17.8	9.0	1.7	14	1.0	40.4	83.9	29.9	113.5																																																																																																																													
年度	開 墾 地							未開墾地	所有地計																																																																																																																													
	機械畑	焼畑	樹園	牧草	宅地	再生林	小計																																																																																																																															
45	17.0	0.6	0.04	25.3	0.9	19.2	62.5	37.2	99.7																																																																																																																													
46	15.7	-	46.1	0.9	-	62.7	37.0	99.7																																																																																																																														
47	13.1	-	31.4	0.9	22.2	67.6	37.5	105.1																																																																																																																														
48	23.3	-	34.5	1.0	20.4	79.2	45.5	124.7																																																																																																																														
49	29.3	5.5	-	50.5	0.8	17.7	103.8	55.7	159.5																																																																																																																													

事項	移住地名	サンファソ移住地					オキナワ移住地						
		(単位：\$b.)							(単位：\$b.)				

3. 一戸平均農家経済
推移

年度	農業租収入	経営費	借入金利息	農業所得	農外所得	農家所得
45	46,953	23,594	90	23,269	3,941	27,210
46	54,608	27,803	311	26,494	4,878	31,372
47	75,361	40,324	567	34,470	6,295	40,765
48	130,484	72,445	755	57,284	11,596	68,880
49	234,733	172,114	707	112,548	13,455	126,003

年度	農業租収入	経営費	借入金利息	所得	農外所得	農家所得
45	(786)	(369)	(14)	(403)	(87)	(490)
46	(824)	(408)	(27)	(413)	(139)	(552)
47	50,029	35,631	355	14,301	7,117	21,418
48	145,400	92,120	2,459	50,821	11,070	61,891
49	245,049	167,304	-	77,745	99,632	177,377

()内は単位千円

4. 一戸平均
施設・農具整備状況
推移

年度	建物施設 (m ²)				農具 (台)			
	住宅	倉庫	畜鶏舎	その他	運搬車	発動機	耕耘機	その他
46	(1.2棟) 68.9	(1.3棟) 60.3	(1.7棟) 212.1	(1.15棟) 174	0.49	1.03	0.15	2.36
47	81.6	68.3	131.2	34.6	0.4	1.1	0.2	3.0
48	79.3	114.9	235.4	61.1	0.3	1.1	0.3	3.1
49	81.5	71.48	262.9	92.74	0.76	1.13	0.4	2.65

年度	建物施設 (m ²)				農具 (台)			
	住宅	倉庫	畜鶏舎	その他	運搬車	発動機	耕耘機	その他
46	(127)	(23)	(24)	(141)	(138)	(23)	(48)	(59)
47	65	46	54	76	1.0	0.4	0.2	4.8
48	74.3	47.8	55.8	85.3	0.7	0.3	0.2	1.1
49	75.1	58.8	100.5	349.5	1.2	0.4	0.4	0.7

※その他 { 積米機、脱穀機、脱粒機、噴霧機、乾草機、人夫舎、井戸、等

5. 一戸平均
資産・負債状況
推移

年度	固定資産						流動資産	計	負債計	純財産
	土地	建物	農具	動物	植物	小計				
45	20,311	14,687	15,867	9,572	9,153	69,590	12,424	8,204	14,846	67,168
47	25,127	19,929	20,915	10,972	12,782	89,725	13,346	103,071	15,760	87,311
48	72,294	43,534	49,238	36,212	15,712	216,990	26,327	243,317	34,725	208,594
49	74,760	56,921	101,576	43,384	37,743	314,384	34,468	348,853	55,373	293,480

年度	固定資産						流動資産	計	負債計	純財産
	土地	建物	農具	動物	植物	小計				
46	(1,143)	(367)	(203)	(534)	(28)	(2,275)	(246)	(2,521)	(213)	(2,307)
47	41,842	15,831	15,207	17,662	225	90,767	4,229	94,996	15,161	79,835
48	111,632	32,923	57,172	56,706	23	258,456	47,118	305,574	36,553	269,021
49	273,086	81,150	79,960	156,148	2,184	592,528	60,574	653,102	197,114	455,988

()内は単位千円

附 国際協力事業団サンタクルス支部概要

(SERVICIO DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON EN BOLIVIA)

〔組織〕

(ステータス)

1975年(昭和50年)3月27日付 最高命令オ12325号をもって、1967年(昭和42年)7月12日付 最高命令オ08049号にて認可された、日本の公的組織である海外移住事業団サンタクルス支部(SERVICIO DE EMIGRACION DEL JAPON EN BOLIVIA)の業務を継承する公的組織であることを正式に承認される。

1964年4月21日付 省令オ125171号

1967年7月12日付 最高命令オ08049号

1967年10月9日付 ポリウイア国外務省回答書簡

1975年3月27日付 最高命令オ12325号

(目的)

日本国政府とポリウイア国政府との間で締結された移住協定の規定事項を履行する公的組織として、サンファン移住地及びオキナワ移住地に定着している日本人移住者に対し、経済的、技術的援助等を行うことを目的としている。

(支部組織)

サンタクルス支部には、総務課及び業務課をおき、その業務を補完するため事業所、試験農場を置いている。

サンタクルス支部	— 総務課	事務所	AV. VELARDE 10, SANTA CRUZ
	— 業務課		
	— サンファン事業所		KM12, SAN JUAN DE YAPACANI, ICHIRO
	— サンファン試験農場		
	— オキナワ事業所		COLONIA NO.2 OKINAWA, NUEVA ESPERANSA, WARNES
	—	ヌエバエスペランサ畜産試験農場	

〔業務内容〕

- (1) ポリウイア国における移住振興のための事業経営に関すること。
- (2) ポリウイア国内における移住振興に関連する事業に対する資金の貸付、管理回収に関すること。
- (3) その他目的を達成するため必要な業務に関すること。

〔主な業務の実績〕

(1) 社会環境の整備

(教育関係)

ポリウイア国の学校教育関係諸機関と緊密な連携のもとに、教育施設(小学校、中学校の設置、教師宿舍、生徒寄宿舍の設置、等)、教材教具の

整備、スクールバスの配置、教師謝金、生徒奨学資金の支給等、移住者子弟の教育上必要な措置を講じている。

また、日本語の普及活動についても、教材・教具を予算の範囲内で整備し、及び日語指導教師を移住地等へ派遣し、助成指詳している。

教育対策費	年度	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
教育施設費		216,796 ⁵⁰	88,590 ²⁹	-	39,661 ⁰⁴	351,529 ²²	41,193 ⁻	168,005 ⁵⁰	-	266,251	338,820	-	1,002,716 ⁰⁵	2,513,562.69
教育費		114,759	112,846 ⁷⁰	83,533 ⁵⁰	133,977	44,827 ⁸⁰	153,817	174,664 ⁵⁰	251,699 ⁰¹	377,455 ⁹⁷	442,036 ⁵⁰	452,595	393,172 ⁷⁰	2,718,335.78
育英助成費		900	5,955 ⁶⁰	18,062 ⁷⁰	20,617	18,564	30,092	40,929	70,274	105,599	192,096	187,220	195,710 ⁰⁰	886,019.30
車輛(スクールバス)購入費		-	-	-	-	-	-	-	89,470	251,753 ⁵⁰	-	460,520	0	818,743.50
計		332,455 ⁵⁰	207,392 ⁵⁶	101,596 ²⁰	194,255 ⁰⁴	414,921 ⁰²	225,102	383,599 ¹⁰	411,443 ⁰¹	1,001,059 ⁹⁷	972,952 ⁸⁰	1,100,335	1,591,598 ⁷⁵	6,936,711.27

(医療関係)

ボリビア国の医療衛生関係諸機関と緊密な連携のもとに、診療施設(病院、診療所の設置、医師、看護婦宿舎の設置、等)

医療器具の整備、救急車の配置、医師謝金、看護婦謝金の支給、運営費の補助又は直営、等、移住地の医療及び衛生上の措置を講じている。

また、医師、看護婦の育成を図るため、育成金を支給しており、現地医師と特約契約を結び、医療体制の整備に配慮している。

医療対策費	年度	38~39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
医療施設費		-	-	-	-	178,390	-	9,266 ⁶⁷	62,753 ⁴⁵	-	-	-	92,133 ⁴⁷	300,271.36
医療衛生費		115,678 ⁶⁸	127,783 ⁵¹	250,020 ⁶²	330,243 ⁹⁷	571,855 ³⁴	581,827 ⁴⁶	716,347 ⁵⁴	804,198 ¹⁷	455,130 ⁸⁷	504,510 ⁷¹	512,416 ⁰⁷	816,577 ³³	5,757,116.76
車輛(救急車)購入費		-	-	-	63,600	69,227 ¹⁷	52,765	-	58,228 ¹²	-	129,740	222,625	0	578,185.12
計		363,176 ⁵⁹	127,783 ⁵¹	250,020 ⁶²	393,843 ⁹⁷	719,472 ³⁴	634,592 ⁹⁵	725,614 ²¹	925,179 ²⁷	455,130 ⁸⁷	634,250 ⁷¹	735,041 ⁰⁷	905,766 ⁰⁷	16,867,873.26

また、移住者の保健衛生を守るため、飲料水対策を講じている。

(44年) 387,499⁶⁸ (46年) 411,566⁶⁷ (47年) 892,889 合計 1,691,955.35

(治安関係)

ボリビア国の治安関係諸機関と緊密な連携のもとに、治安施設(警察派出所)の設置、パトロール用オートバイの配置、警察官謝金の支給、等、移住地内の治安維持に必要な措置を講じている。

治安対策費	年度	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
治安施設費		-	30,045 ⁴⁸	-	-	-	-	-	42,535 ¹¹	49,321	-	66,600	-	-	215,501.59
治安費		9,287 ⁶⁵	13,540	138,225 ⁵⁰	20,266 ²⁰	31,164	25,360	40,588 ⁷⁰	37,823	41,005 ⁰⁵	47,150	73,572	78,727	75,695 ⁷⁰	508,001.80
車輛(オートバイ)購入費		-	-	27,000	12,400	-	-	-	13,567	-	22,932 ³³	-	-	43,071 ³⁰	91,971.13
合計		9,287 ⁶⁵	43,585 ⁴⁸	40,822 ⁵⁰	32,666 ²⁰	31,164	25,360	40,588 ⁷⁰	93,925 ¹¹	90,326 ⁰⁵	70,082 ³³	140,172	78,727	118,767 ⁵⁰	815,474.52

(道路整備関係)

移住地の道路は、移住者の生活、生産及び経済活動を営む上で最も重要なものであり、幹線道路については、ボリヴィア国道路交通関係諸機関と緊密な連携のもとに道路整備を行い、交通網確保の措置を講じている。

単位 \$b.

道路対策	年度	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
サンファン移住地		62416 ⁷¹	70,252 ¹⁵	452,389 ³¹	1,034,268 ⁶⁴	1,078,012 ⁵⁰	1,102,715 ⁸¹	321,898	-	-	-	-	-	5,824,047 ⁴⁵	9,946,001 ⁸³
オキナワ移住地		-	-	-	-	-	-	-	1,736,870 ¹²	2,065,892 ⁵⁷	2,416,547 ⁹¹	2,894,908 ⁴⁶	3,634,986 ⁷⁴	-	12,749,207 ⁶⁰
合計		62416 ⁷¹	70,252 ¹⁵	452,389 ³¹	1,034,268 ⁶⁴	1,078,012 ⁵⁰	1,102,715 ⁸¹	321,898	1,736,870 ¹²	2,065,892 ⁵⁷	2,416,547 ⁹¹	2,894,908 ⁴⁶	3,634,986 ⁷⁴	5,824,047 ⁴⁵	22,695,208 ⁵⁵

後 援 指 導

(営農指導普及関係)

移住者の経営自立、発展を図るため、試験農場を設置し、農業技術に関する調査、試験、及び営農指導、普及に当たっている。

単位 \$b.

	営農指導費	施設費	機械装置費	什器備品費	車輛運搬具費	合計
営農指導対策	3,898,096 ³⁷	2,063,655 ⁴⁴	972,442 ¹⁴	351,037 ⁴¹	363,670	7,648,901 ³⁶

(組織育成関係)

移住者の定着と安定を図るため、移住者を主体として組織された農業協同組合、及び自治体に対し、人件費、行政事務費等の補助を行い、また、役員員の資質向上を図るための研修会、講習会開催費用の補助を行って、組織の育成を行っている。

単位 \$b.

育成助成費	年度	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
農協助成費		8,065 ⁰⁷	11,085 ¹²	78,292 ¹⁶	11,000	15,369	18,295	37,610	42,265	41,250	55,365	66,957 ²⁴	91,914 ²⁰	59,965 ⁵⁵	537,433 ⁴⁴
自治体育成費		-	-	-	-	-	125,308 ³⁰	14,318	14,860	16,002	20,160	26,438 ³⁵	24,399	23,134 ⁵⁵	264,620 ⁸⁰
合計		8,065 ⁰⁷	11,085 ¹²	78,292 ¹⁶	11,000	15,369	143,603 ³⁰	51,928	57,125	57,252	75,525	93,396 ¹⁹	116,313 ²⁰	83,100 ²⁰	802,054 ²⁴

(資金の貸付関係)

移住者の定着、発展を容易にし、また移住者により構成された団体の発展を容易にするため、設備資金および長期運転資金、並びに短期運転資金の貸付を行い、管理・回収を行っている。

短期、及び長期貸付金地域別、年度別貸付実績

単位：ドル

地域	年度別	34~37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	合計
		短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期	
サンファン	短期	292,366 ⁹⁵	12,396 ⁷⁶	4,035 ⁶⁰	-	5,000	5,000	9,850	22,400	40,314 ⁷⁶	38,386	29,600	35,440	15,910	-	510,699 ⁹⁵
	長期	93,938 ⁸⁸	5,066 ²¹	-	-	11,678	4,010	19,830	32,300	28,920	55,680	140,600	124,660	156,970	211,600	885,253 ¹⁹
	計	386,305 ⁹¹	17,462 ⁷⁷	4,035 ⁶⁰	-	16,678	9,010	29,680	54,700	69,234 ⁷⁶	94,066	170,200	160,100	172,880	211,600	1,395,953 ¹⁴
オキナワ	短期	60,000	70,000	-	-	-	14,820	19,150	3,440	27,498	41,420	56,300	70,000	126,400	-	487,025
	長期	-	-	-	-	14,800	18,110	42,170	79,830	98,635	199,070	240,600	162,700	175,300	542,500	1,573,715
	計	60,000	70,000	-	-	14,800	32,930	61,320	83,270	126,133	240,490	296,900	232,700	301,700	542,500	2,062,743
サンタクルス	短期	-	29,000	71,000	-	-	-	19,000	19,000	-	-	-	-	-	-	138,000
	長期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	29,000	71,000	-	-	-	19,000	19,000	-	-	-	-	-	-	138,000
合計	短期	352,366 ⁸³	111,396 ⁷⁶	75,035 ⁶⁰	-	5,000	19,820	48,000	44,840	67,812 ⁷⁶	79,806	85,900	105,440	142,310	-	1,137,727 ⁹⁵
	長期	93,938 ⁸⁸	5,066 ²¹	-	-	26,478	22,120	62,000	112,130	127,555	254,750	381,200	287,360	332,270	754,100	2,458,968 ¹⁹
	計	446,305 ⁹¹	116,462 ⁹⁷	75,035 ⁶⁰	-	31,478	41,940	110,000	156,970	195,367 ⁷⁶	334,556	467,100	392,800	474,580	754,100	3,596,696 ¹⁴

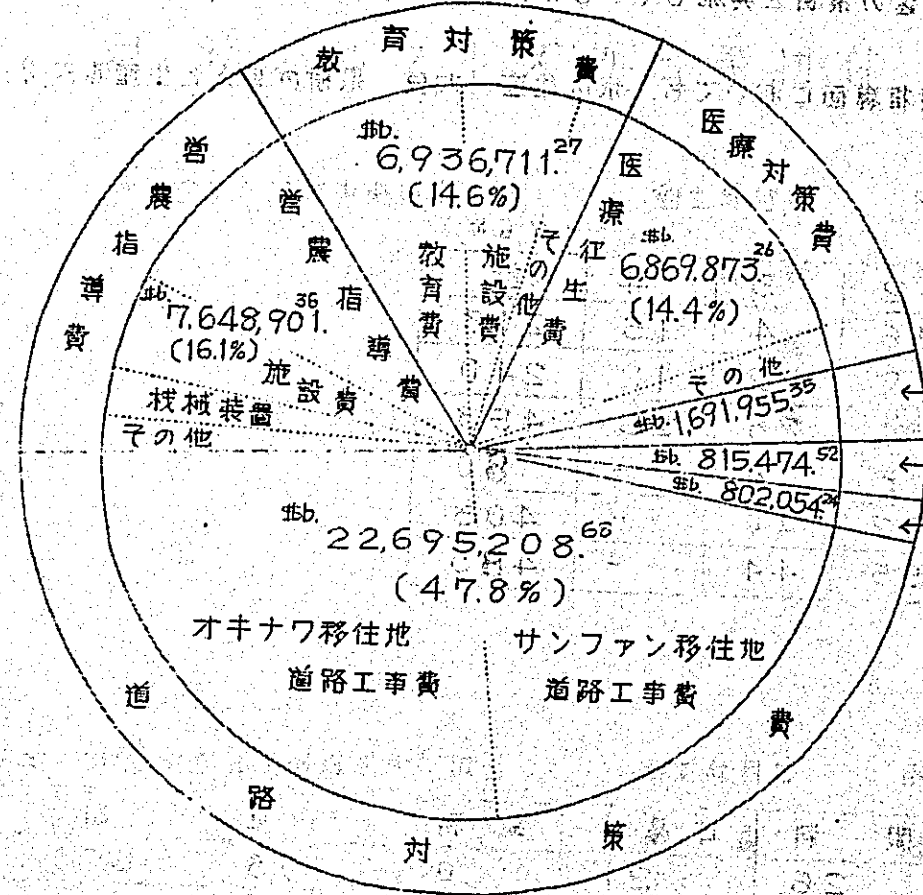
短期、及び長期貸付金年度別貸付残高

地域	年度別	34~37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
		短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期	計	短期	長期
合計	短期	438,456 ⁸³	302,907 ³¹	264,944 ⁵⁷	200,331 ⁶⁸	185,040 ⁷¹	200,703 ⁹⁰	217,031 ⁹⁸	217,623 ⁰²	220,197 ⁶³	214,992 ⁶³	210,457 ¹²	276,774 ⁴²	375,617 ²¹	346,271 ¹⁴
	長期	119,341 ⁷¹	99,005 ¹⁹	98,280 ³⁷	96,084 ¹⁴	118,389 ²⁸	134,638 ³⁵	178,575 ¹⁵	251,514 ⁷⁸	313,077 ³⁴	508,949 ⁵⁵	736,332 ⁴¹	896,223 ⁶⁴	1,129,050 ⁹⁴	1,735,427 ⁹⁰
	計	557,798 ⁵⁴	401,912 ⁵⁰	363,224 ⁹⁴	296,415 ⁸²	303,429 ⁹⁹	335,342 ²⁵	395,607 ¹³	469,137 ⁸⁰	533,274 ⁹⁷	723,942 ¹⁸	946,789 ⁵³	1,172,998 ⁰⁶	1,504,668 ¹⁵	2,081,699 ⁰⁴

主な業務実績図表

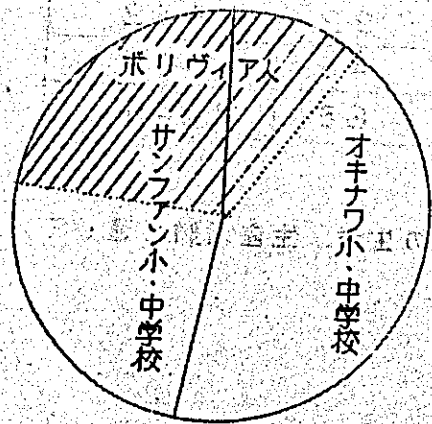
自. 昭和38年4月
至 昭和50年3月

〔 概 算 額 〕

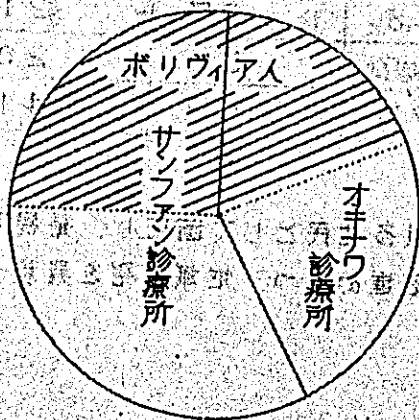


主な事項	金額
(教育対策費)	6,936,711.27
(医療対策費)	6,869,873.26
(飲料水対策費)	1,691,955.35
(治安対策費)	815,474.52
(道路対策費)	22,695,208.68
(営農指導費)	7,648,901.36
(組織育成費)	802,054.24
小計	47,460,178.68
÷	723,768,000円

生徒(日・ポ)の割合



受診者(日・ポ)の割合



(融資貸付実績額) US\$ 3,596,696.14
(貸付残高 1976.3) US\$ 2,081,699.04

〔移住と国際協力〕

事業団は、移住者のポリヴィア社会への円滑な定着と発展を助長するため、前述の業務を実施しているが、これら業務は開発協力という面からも重要な役割を果たしてきている。

例えば、教育対策や医療対策は、協力面が顕著に現われており、また営農技術指導面においても、米の生産、大豆、果樹の導入と生産振興等、地域開発につながる施策で、地域社会の経済的発展に貢献している。

(教育)

(1976年)

学校生徒数	学年	1	2	3	4	5	中1	2	3	4	計
サンファン	ポリヴィア人	57	36	28	24	28	12	16	4	13	218
	日本(系)人	26	32	37	33	26	34	13	22	12	240
	計	83	68	65	57	54	46	34	26	25	458
オキナワ	ポリヴィア人	14	16	13	8	13	9	3	4	-	80
	日本(系)人	40	46	53	55	60	57	52	40	-	403
	計	54	62	66	63	73	66	55	44	-	483

(医療)

(1975年)

診療所	科別	内科小児科	外科	産婦人科	皮膚泌尿科	眼科	耳鼻科	齒科	その他	計
サンファン	ポリヴィア人	320	156	39	18	26	21	0	98	678
	日本(系)人	1,281	429	245	72	68	65	1	148	2,309
	計	1,601	585	284	90	94	86	1	246	2,987
オキナワ	ポリヴィア人	455	349	108	48	27	21	2	22	1,032
	日本(系)人	608	358	175	47	52	20	3	46	1,309
	計	1,063	707	283	95	79	41	5	68	2,341

更に、移住者自身は、新しい人生をポリヴィアで創造しつつ、愛される住民として適応し、発展しているが、毎日の生活、生産活動を通じて、地域住民との接触の中で、相互理解を深め、また、技術や経営の交流を進めつつ、地域開発を具現しつつある。

附. サントクルスの日系団体

サントクルス市中央日本人会

創立年月日	昭和40年3月15日	(社団法人)
会員数	80戸 399名	
会長	大城 秀雄	
事業	(1) 会員の親睦	
	(2) 日語補習学校の運営	
	生徒数 小学生 122名	
	中学生 10名	
	教師数 4名	

サントクルス州日米文化協会

創立年月日	昭和48年5月5日	(任意団体)
会員	個人会員、団体会員	
会長	代行 副会長 宮原 定 宮城 徳昌	
事業	サントクルス学生寮の運営	(1976年)
	入寮者数	(男) (女) (計)
	サンファン移住地	2名 1名 3名
	オキナワ移住地	27名 18名 45名
	計	29名 19名 48名

1949年10月1日

1949年10月1日

1949年10月1日

1949年10月1日

1949年10月1日

新民主主义革命总路线

无产阶级领导的，人民大众的，反对帝国主义、封建主义和官僚资本主义的革命。

这个总路线规定了新民主主义革命的性质、对象、动力和领导力量。

新民主主义革命是资产阶级民主革命，但又不是单纯的资产阶级民主革命。

它是无产阶级领导的，人民大众的，反对帝国主义、封建主义和官僚资本主义的革命。

新民主主义革命总路线

无产阶级领导的

人民大众的

反对帝国主义

封建主义

和官僚资本主义

这个总路线规定了新民主主义革命的性质、对象、动力和领导力量。

新民主主义革命是资产阶级民主革命，但又不是单纯的资产阶级民主革命。

它是无产阶级领导的，人民大众的，反对帝国主义、封建主义和官僚资本主义的革命。

这个总路线规定了新民主主义革命的性质、对象、动力和领导力量。

新民主主义革命是资产阶级民主革命，但又不是单纯的资产阶级民主革命。

它是无产阶级领导的，人民大众的，反对帝国主义、封建主义和官僚资本主义的革命。

这个总路线规定了新民主主义革命的性质、对象、动力和领导力量。

新民主主义革命是资产阶级民主革命，但又不是单纯的资产阶级民主革命。